

13

SMART PRODUCT 2023

誰でもドローンで森林管理が可能に ドローンデータからの森林情報解析ソフトウェア DF Scanner / DF LAT

製品の特徴

「DF LAT」レーザードローン用の3次元点群解析ソフトウェア。

市販のレーザードローンから地面部分を検出し、詳細な地形データ（標高データ）や樹高モデルの作成が可能。

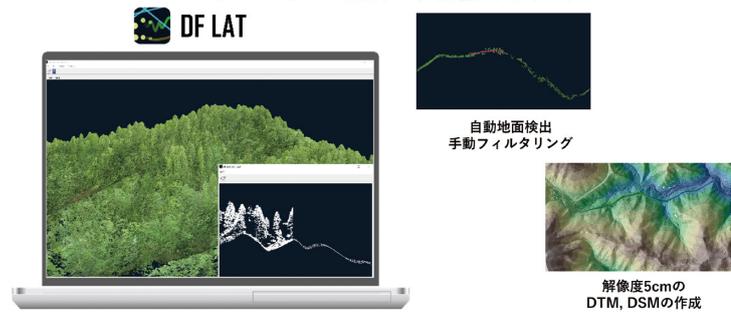
「DF Scanner」森林解析ソフトウェア。

ドローンに搭載したデジタルカメラやレーザーデータから森林を単木単位で解析が可能。各樹木の検出、AIを活用した樹種の識別、樹高・幹の太さの推定、収穫量となる幹材積量や炭素蓄積量などの推定が可能な世界初のドローン用の統合的な森林解析ソフトウェア。

ドローン画像からの森林情報解析ソフトウェア



ドローンLiDAR点群データ処理ソフトウェア



製品が誕生した背景

ドローンの解析技術が黎明期中、代表の大西博士が京都大学在学中に開発したAIを活用してドローンの画像から樹種を識別する技術を元に、樹木検出技術やサイズ推定機能を実装しソフトウェアとして作り込み、京大発ベンチャーとして創業し、DF Scannerとしてリリース。

またレーザードローンを森林調査で活用するにあたり、京都大学の小野田教授、Farhad 博士とともに研究する中で必要な技術の開発に成功し、新しくDF LATとして製品化に至った。

こんな時に活用できます！

山の木材の収穫量の見込みや、管理・間伐状況のチェックなど林業での活用や、山の資産としての価値評価や病虫害の発生状況、CO2吸収量の計測など幅広い用途が可能。実際に、山の所有者やドローンの計測会社などが利用。

DeepForest Technologies 株式会社

〒606-8501 京都市左京区吉田本町36番地1 京都大学国際科学イノベーション棟

TEL 080-1289-3350

FAX -

URL <https://deepforest-tech.co.jp>

EMAIL mail@deepforest-tech.co.jp

DeepForest Technologiesは森林の課題に技術で挑む京都大学発ベンチャーです。林業や地球温暖化、生物多様性の減少など森林に関わる課題の解決を新たな技術の開発の観点から取り組んでいます。特にドローンなどを活用して誰もが森林の現状と価値を正確にかつ効率的に把握できるよう目指しています。